

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成21年9月1日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 新しい理事について
2. 農学部学科の改組について
3. 「日本一の芋煮会フェスティバル」における科学体験コーナーについて
4. 日本植物学会の開催について

お 知 ら せ

1. 「イノベーション・ジャパン 2009」における出展・新技術説明について
2. 第7回 高エネルギースピニング物理学環太平洋シンポジウムの開催について
3. 工学部「産学連携交流会」の開催について
4. 工学部公開講座「人間を対象とする計測・制御技術」の開催について
5. 農学部「生物の多様性を考える」の開催について

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：9月15日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成21年9月1日
山形大学

新しい理事が決まりました。

- なか しま ゆう き 中島勇喜（再任）
（学長代理）教育、学生担当

- かわ た すみ お 河田純男（再任）
研究、評価担当

- こ やま きよ ひと 小山清人（再任）
社会連携、図書・情報、国際交流担当

- きた の みち よ 北野通世（再任）
総務、人事・労務、広報担当

- しば さき たかし 柴崎孝（新任）
財務、施設、エンrollment・マネジメント、業務改善担当

※ 任 期 : 平成21年9月1日～平成23年8月31日

（お問い合わせ）
総務部広報ユニット
（TEL）023-628-4005

新理事の経歴等

法人名 国立大学法人山形大学

(平成21年9月1日現在)

役職	氏名	就任年月日	経歴
理事	なかしまゆうき 中島 勇喜	平成21年9月1日 (再任)	昭和47年 6月 九州大学農学部助手 昭和53年10月 山形大学農学部助教授 平成 4年 4月 山形大学農学部教授 平成11年 4月 山形大学農学部附属演習林長(～平成15年3月) 平成15年 4月 山形大学評議員(～平成17年3月) 平成17年 4月 山形大学農学部長(～平成19年8月) 平成19年 9月 国立大学法人山形大学理事
理事	かわたすみお 河田 純男	平成21年9月1日 (再任)	昭和60年10月 大阪大学医学部助手 平成 5年 7月 大阪大学医学部講師 平成 6年 8月 大阪大学医学部助教授 平成11年 4月 大阪大学大学院医学系研究科助教授 平成12年 7月 山形大学医学部教授 平成14年 4月 山形大学評議員(～平成16年3月) 平成18年 4月 山形大学評議員 平成19年 9月 国立大学法人山形大学理事
理事	こやまきよひと 小山 清人	平成21年9月1日 (再任)	昭和49年 4月 山形大学工学部助手 昭和62年10月 山形大学工学部助教授 平成 4年 4月 山形大学工学部教授 平成 7年 3月 山形大学附属図書館工学部分館長(～平成10年12月) 平成10年11月 山形大学評議員(～平成13年8月) 平成11年 2月 山形大学大学院ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長(～平成17年3月) 平成16年 4月 山形大学工学部長(～平成19年8月) 平成19年 4月 山形大学大学院理工学研究科教授 平成19年 9月 国立大学法人山形大学理事
理事	きたのみちよ 北野 通世	平成21年9月1日 (再任)	昭和55年10月 弘前大学教養部講師 昭和59年 5月 弘前大学教養部助教授 昭和63年 4月 山形大学人文学部助教授 平成 6年 6月 山形大学人文学部教授 平成16年 4月 山形大学評議員(～平成18年3月) 平成19年 9月 国立大学法人山形大学理事
理事	しばさきたかし 柴崎 孝	平成21年9月1日 (新任)	昭和47年 4月 高エネルギー物理学研究所 昭和55年 5月 文部省 平成 5年 4月 大分大学 平成 7年 4月 放送教育開発センター 平成 8年 4月 文部省 平成15年 1月 高エネルギー加速器機構 平成17年 4月 文部科学省 平成19年 4月 総合研究大学院大学 平成21年 9月 国立大学法人山形大学理事

平成 21 年 9 月 1 日
山 形 大 学

平成 22 年 4 月 山形大学農学部は変わります。

農学部の学科が 3 学科から 1 学科 6 コースに変わります。

〈新農学部の特徴〉

☆学部一括入試、2 年次から各コースへ

前期・後期・推薦入試とも学部一括入試を実施します。

入学後 1 年間の基盤教育科目、専門基礎科目を通して専門分野への適性を見極めながら進路の選択が可能となる体制としています。

☆農学に含まれる食料、生命、環境に関する様々な課題を 未来に向けて解決しうる人材の養成

現在、地球規模での食料の偏在と不足、地球温暖化の進行、生態環境の破壊、食の安全性の確保等の複雑で困難な課題が生じており、これらの課題を未来に向けて解決しうる人材の養成が強く求められています。

こうした状況に対応するために、従来の学問体系にとらわれることなく、世界の農業や農学の動向を総合的に学習し、多様な知の修得と活用を促す分野横断型の教育体制を構築します。

☆社会のニーズに対応した多様なコース

農学教育に対する中長期的な社会的ニーズを柱に、卒業後の進路なども考慮した 6 つのコースを設置します。

(お問い合わせ)

農学部事務ユニット

電話：0235 (28) 2802

山形大学農学部は平成22年4月からこのように変わります。

現農学部

3学科

生物生産学科
(入学定員55人)

生物資源学科
(入学定員50人)

生物環境学科
(入学定員50人)

入学定員 155人

新農学部の特徴

学部一括入試、2年次から各コースへ

前期・後期・推薦入試とも学部一括入試を実施します。
入学後1年間の基盤教育科目、専門基礎科目を通して専門分野への適性を見極めながら進路の選択が可能となる体制としています。

(注) 平成22年度入学試験教科科目については、既に公表しているものからの変更の予定はありません。
なお、入学者選抜の詳細については、6月下旬公表の「平成22年度山形大学入学者選抜要項」でご確認下さい。

農学に含まれる食料、生命、環境に関する様々な課題を 未来に向けて解決しうる人材の養成

現在、地球規模での食料の偏在と不足、地球温暖化の進行、生態環境の破壊、食の安全性の確保等の複雑で困難な課題が生じており、これらの課題を未来に向けて解決しうる人材の養成が強く求められています。

こうした状況に対応するために、従来の学問体系にとらわれることなく、世界の農業や農学の動向を総合的に学習し、多様な知の修得と活用を促す分野横断型の教育体制を構築します。

社会のニーズに対応した多様なコース

農学教育に対する中長期的な社会的ニーズを柱に、卒業後の進路なども考慮した6つのコースを設置します。

新農学部

1学科 6コース制

食料生命環境学科

入学定員
155人

安全農産物生産学コース

食農環境マネジメント学コース

食品・応用生命科学コース

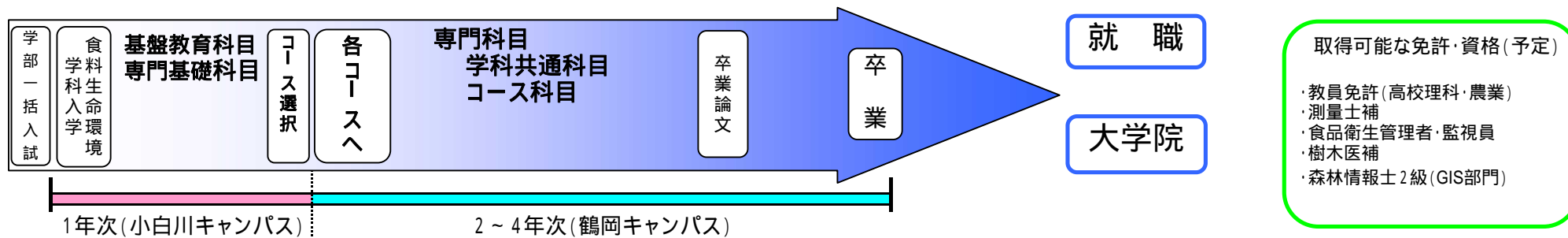
植物機能開発学コース

森林科学コース

水土環境科学コース

次ページに各コースの概要を掲載しています。

入学してから卒業まで



各コースの概要

安全農産物生産学コース

コース概要

地域や開発途上国で安全な農畜産物の安定生産を実現させるため、持続的で循環型の環境保全型農業生産の科学的理論や方法などについて、フィールドワークを取り入れた教育を行います。

主な進路

農学系公務員、市町村職員、JA職員、国際協力機構(JICA)職員、青年海外協力隊員、民間企業(農業関連)、大学院、農業自営者等。

食農環境マネジメント学コース

コース概要

食料、農業、農村、環境の維持・発展を目的に、農業経営やコミュニティビジネスの発展方策や地域活性化手法、食の安全を担保するフードシステムや循環型社会システム構築に関する理論や方策などの教育を行います。

主な進路

農学系公務員、市町村行政職員、JA職員、農業経営者、民間企業(都市農村交流関係ほか)、大学院等。

食品・応用生命科学コース

コース概要

生命科学の基礎とバイオテクノロジーを用い、食品と健康、高等動植物や微生物の機能解明・開発、食品・医薬品・環境産業等への展開利用、バイオマスやバイオエネルギーの高度な利用と応用などの教育を行います。

主な進路

大学院、民間企業(食品関係、飼種苗産業、化学工業、環境分析、農業サービス)、公務員(農芸化学系、食品衛生系)等。

植物機能開発学コース

コース概要

植物を対象に、遺伝資源学、植物制御化学、ゲノム科学に基づいて、その機能を遺伝子、タンパク質、代謝物質等のミクロな面から解析する方法、植物資源の高度な利用、ストレス耐性植物の開発等のマクロな面への応用などの教育を行います。

主な進路

大学院、民間企業(食料品・飲料・飼料製造業、種苗産業、化学工業、食品・環境分析事業、農業サービス)、JA職員、公務員(農芸化学系、食品衛生系)等。

森林科学コース

コース概要

循環型社会構築のため、森林の高度な利活用により、生物多様性の保全と持続的資源利用を推進し、低炭素社会の実現を目指すなど、様々な地球環境問題に関して、講義や多彩なフィールドワークを取り入れた教育を行います。

主な進路

林学系公務員・団体職員、民間企業(環境産業、紙パルプなどの林産業)、協同組合職員(森林組合、農協、生協等)、NGO(環境教育など)職員、大学院等。

水土環境科学コース

コース概要

自然と調和する農山村整備を実現するため、土台となる土と水の科学技術を環境問題との関わりで広い視野から学ぶとともに、農地を造り・水を確保し・維持・管理する一連の技術を修得するため、プロジェクト実習などを通じた実践的な教育を行います。

主な進路

農工系公務員、民間企業(環境コンサルタント、建設コンサルタント、建設業関連)、国際協力機関、土地改良関連団体職員、大学院等。

土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用

生物の多様性を 考える

未来博士号が授与される 高校生対象特別プログラム

- 講師／安田弘法教授
西澤隆教授／俵谷圭太郎教授
村山秀樹教授／佐藤智准教授
- 講義／生物の多様性を考える
～土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用～
- 実験1／土壌微生物を観察する
～菌根菌の役割～
- 実験2／植物を分析する
～ポリフェノールの役割～
- 実験3／昆虫を観察する
～植食者と捕食者の関係～
- なんでも質問コーナー

生物の進化や生物圏における生命の維持のためには、生物の多様性が重要です。生物(微生物、植物、動物)は、個々に生きているわけではありません。他の生物種とともに生存競争のもとで相互依存的に生息しています。この講座では、高校生の皆さんに、土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用についてインドネシアと日本で実施した研究成果を紹介するとともに、土壌微生物、植物、昆虫を対象としたそれぞれの実習を行い、農学のおもしろさを広くお伝えします。どうぞ、お気軽にご参加ください。

●期日 **2009.10/3.Sat**
9:00～16:00(受付は8:30より開始)

●会場 **山形大学農学部3号館**

●対象 **高校生／定員20名**

●参加費 **無料(昼食付)**

●申込締切日 **2009.9.18(金)**

●参加ご希望の方は裏面に必要事項をご記入のうえ、
下記お問い合わせ・お申込み先までお申込ください。

主催：山形大学農学部

●お問い合わせ・お申込み先／山形大学農学部企画広報室
山形県鶴岡市若葉町1-23 〒997-8555 tel.0235-28-2911 fax.0235-28-2812
E-mail:nosenken@jm.yamagata-u.ac.jp



平成 21 年 9 月 1 日
山 形 大 学

「日本一の芋煮会フェスティバル」で科学体験

「やまがた『科学の花咲く』プロジェクト」では、新たな科学コミュニケーション機会の創出として、科学体験コーナーを「日本一の芋煮会フェスティバル」に出展します。

1. 科学体験コーナー出展の概要

- (1) 出展日時 9月6日(日) 10時～16時
- (2) 出展場所 「日本一の芋煮会フェスティバル」会場(山形市馬見ヶ崎河川敷)
- (3) 出展内容
 - ①「何でも太陽コピー」(日光を使って、絵や切り紙細工の模様をコピーします)
 - ②サイエンスカーでオワンクラゲの展示
 - ③有機ELの展示
- (4) 参加経費 科学体験コーナーは無料

2. 「やまがた『科学の花咲く』プロジェクト」とは

- (1) 科学コミュニケーターの養成及びネットワーク形成
科学コミュニケーター*養成研修の実施、情報交換のための交流会の開催など
*子供たちや一般の人々に科学をわかりやすく解説し、認識を深めさせる活動をする人。
- (2) 地域・家庭でできる科学体験ツールの開発
科学コミュニケーターが活用する科学遊びのプログラムや科学実験キットの開発
- (3) 新たな科学コミュニケーション機会の創出
商店街等での科学イベントの開催、インターネットで情報発信を行うポータルサイトの整備

(お問い合わせ)

SCITA(サイタ)センター

やまがた「科学の花咲く」プロジェクト事務局

電話: 023(628)4517

平成 21 年 9 月 1 日
山 形 大 学

日本植物学会第 73 回大会 公開シンポジウム「奇妙な生物から植物の大系統を探る」

9 月 18 日～20 日、山形大学小白川キャンパスにおいて日本植物学会第 73 回大会が開催されます。
それに伴い、様々な一般公開プログラムが開催されますのでお知らせいたします。

1. 公開シンポジウム「奇妙な生物から植物の大系統を探る」
日 時：9 月 20 日（日）13：00～17：30～
場 所：理学部先端棟 4 階（小白川キャンパス）
内 容：最新の情報に基づく生物進化の全体像のなかで「植物」をどのように理解するかを、植物学会の若手研究者が一般の方々にわかりやすく説明します。
2. 日本学術会議シンポジウム「遺伝子組換え植物研究の現状と課題」
日 時：9 月 17 日（木）13：00～15：30
場 所：地域教育文化学部 B 棟 2 階講義室（小白川キャンパス）
3. 公開特別講演会「科研費をはじめとする日本学術振興会事業について
－競争的資金を獲得するチャンスを見逃していませんか？－」
日 時：9 月 18 日（金）12：45～13：30
場 所：地域教育文化学部 3 号館 2 階（小白川キャンパス）
講 師：宮 嶋 和 男 氏（(独)日本学術振興会 審議役）
4. 大会企画特別講演会「草木塔の心」（山形市後援事業）
日 時：9 月 20 日（日）10：00～12：00
場 所：地域教育文化学部 B 棟 2 階講義室（小白川キャンパス）
講 師：千 歳 栄 氏（千歳建設会長）、梅 津 幸 保 氏（置賜民俗学会会員）
5. 大会記念「杉崎紀世彦ボタニカル・アート展」（山形大学小白川図書館協賛）
日 時：9 月 14 日（月）～20 日（日）
場 所：山形大学小白川図書館 2 階（小白川キャンパス）
6. 高校生による研究展示発表
日 時：9 月 19 日（土）13：00～14：30
場 所：教養教育 1 号館ポスター会場（小白川キャンパス）

（お問い合わせ）
理学部生物学科 原 慶明
電話：023（628）4610



日本植物学会第73回大会 (2009年9月18日~20日、山形)

公開シンポジウム

「奇妙な生物から植物の大系統を探る」

(2009年9月20日 13:00~、山形大学小白川キャンパス)



日本植物学会 主催

山形大学理学部 後援

---平成21年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)助成事業---

進化の原動力=細胞内共生

長里千香子(北大)

黄色い植物=クロミスタとその仲間たち

上井進也(新潟大)

アルベオラータと呼ばれる生き物たち

高野義人(長崎大)

動物から植物になる? 半藻半獣=ハテナ

山口晴代(筑波大)

リザリア生物群の植物=クロラクニオン

大田修平(ロスコフ研・仏)

違う生き方を選んだ兄弟=眠り病原虫とミドリムシ

中山 剛(筑波大)

植物の上陸作戦=シャジクモの辿った道

坂山英俊(神戸大)

結局植物とは? 古今東西の植物の定義

仲田崇士(慶応大)

日本学術会議
植物科学分科会
日本植物学会 共催

「遺伝子組換え植物研究の現状と課題」
(地域教育文化学部B棟2階講義室 17日 13:00~)

特別講演会
日本植物学会企画

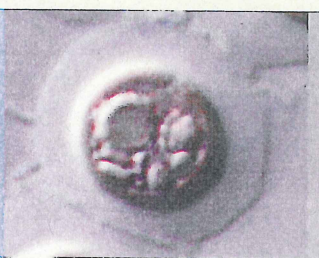
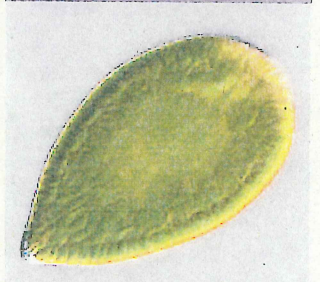
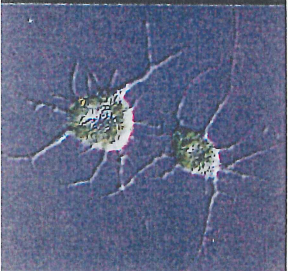
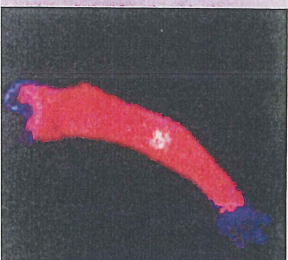
「科研費をはじめとする日本学術振興会事業について
あなたは競争的資金を取るチャンスを見逃していませんか?」
(地域教育文化学部B棟2階講義室 18日 13:30~)

大会企画
山形市 後援

「草木塔の心」
(地域教育文化学部B棟2階講義室 20日 10:00~)

山形大学小白川
図書館 協賛

大会記念「杉崎紀世彦ポタニカル・アート展」
(山形大学小白川図書館2階 14日~20日)



プレス通知資料（概要）

平成21年9月1日
山形大学

1. イノベーション・ジャパン 2009—大学見本市に出展します

（概要）6回目を迎える国内最大規模の産学マッチングの場「イノベーション・ジャパン」に今年も出展いたします。

「展示」と研究者によるプレゼンテーション「新技術説明会」で構成され、大学発の最先端技術シーズと産学連携の最新動向を皆様にお伝えします。

日時：平成21年9月16日(水)～18日(金) 10:00～18:00 ※18日は17:00終了
会場：東京国際フォーラム(東京・有楽町)

所属	氏名	研究成果	ブースNo.	新技術説明会 No.、日時	
理学部物質生命化学科	栗原正人	100℃の壁を越えた低温焼結性銀超微粒子の高効率・簡便製造	N-05	PN-06	9月16日 13:30-14:00
大学院理工学研究科	神戸士郎	パソコンをセンサーにする溶存酸素濃度センサー、電気伝導率センサーの開発	K-05	PK-15	9月16日 13:30-14:00
大学院理工学研究科	加藤宏朗	高性能ネオジム磁石のレアメタル使用量を削減する界面制御技術の開発	Z-05	—	—
大学院理工学研究科	飯塚 博	植物由来の多孔質炭素材料を利用した新しい工業材料	—	PZ-21	9月18日 16:00-16:30
大学院理工学研究科	幕田寿典	マイクロバブルから直接作る中空マイクロカプセル	Z-04	PZ-02	9月18日 11:30-12:00

問い合わせ：山形大学総務部広報ユニット
(TEL)023-628-4005

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

2. 国際シンポジウム「第7回高エネルギー物理学環太平洋シンポジウム」

（概要）本シンポジウムは、陽子などのクォークから構成される素粒子のスピ構造に関する国際会議です。日本、米国、韓国、中国、台湾、オーストラリアなど環太平洋地域の高エネルギースピ物理学を専門とする研究者が集まり、最新の研究成果について議論します。

日時：平成21年9月15日(火)～18日(金)
場所：遊学館(山形市)

問い合わせ：山形大学理学部物理学科 教授 岩田高広
(TEL)023-628-4762

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

3. 工学部「産学連携交流会」

(概要) 工学部と山形市、上山市、東南村山商工会広域連携協議会が「産学連携交流会」を開催します。

基調講演では、産学連携の成功例を。ポスターセッション&ミニプレゼンテーションでは、興味ある研究シーズをご紹介します。

また、産学官の参加者のざっくばらんな懇親交流会も併せて開催いたします。

日 時:平成21年9月17日(木) 15:00～

場 所:山形国際ホテル 3階富士の間(山形市香澄町 3-4-5)

会 費:無料(「懇親交流会」に参加される方のみ1,000円)

問い合わせ:山形大学工学部研究支援室

(TEL)0238-26-3004

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

4. 工学部公開講座「人間を対象とする計測・制御技術」

(概要) システムという観点から人間が発する信号を計測することで、人の健康状態をモニタリングしたり、脳の謎に迫ったりすることが出来ます。計測・制御技術の最先端トピックスをわかりやすく紹介いたします。

日 時:平成21年9月26日(土) 13:00～17:00

場 所:工学部4号館211教室(米沢市)

対 象:一般市民(高校生以上)

問い合わせ:山形大学工学部 広報室

(TEL)0238-26-3419

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

5. 農学部ひらめき☆ときめきサイエンス「生物の多様性を考える」

(概要) この講座では、高校生の皆さんに、土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用について、インドネシアと日本で実施した研究成果を紹介するとともに、土壌微生物、植物、昆虫を対象としたそれぞれの実習を行い、農学のおもしろさを広くお伝えします。

日 時:平成21年10月3日(土) 9:00～16:00

場 所:農学部3号館(鶴岡市)

対 象:高校生/定員20名

申込締切日:平成21年9月18日(金)

問い合わせ:山形大学農学部企画広報室

(TEL)0235-28-2911

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

イノベーション Innovation JAPAN 2009

イノベーション・ジャパン2009-大学見本市

創造！にっぽん力
大学・研究室393が一堂に！

産学マッチング6年目の成果！
大学発「知」の見本市、開催。

400を超える大学発先端技術シーズを一挙に公開！
国内最大規模の産学マッチングの場としてご活用ください。

開催日時

2009.9.16(水)-18(金)
10:00-18:00 ※18日は17:00終了

会場

東京国際フォーラム[東京・有楽町]

主催：



独立行政法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency



独立行政法人
新エネルギー・
産業技術総合開発機構

共催：文部科学省

経済産業省 内閣府

特別協賛：野村證券

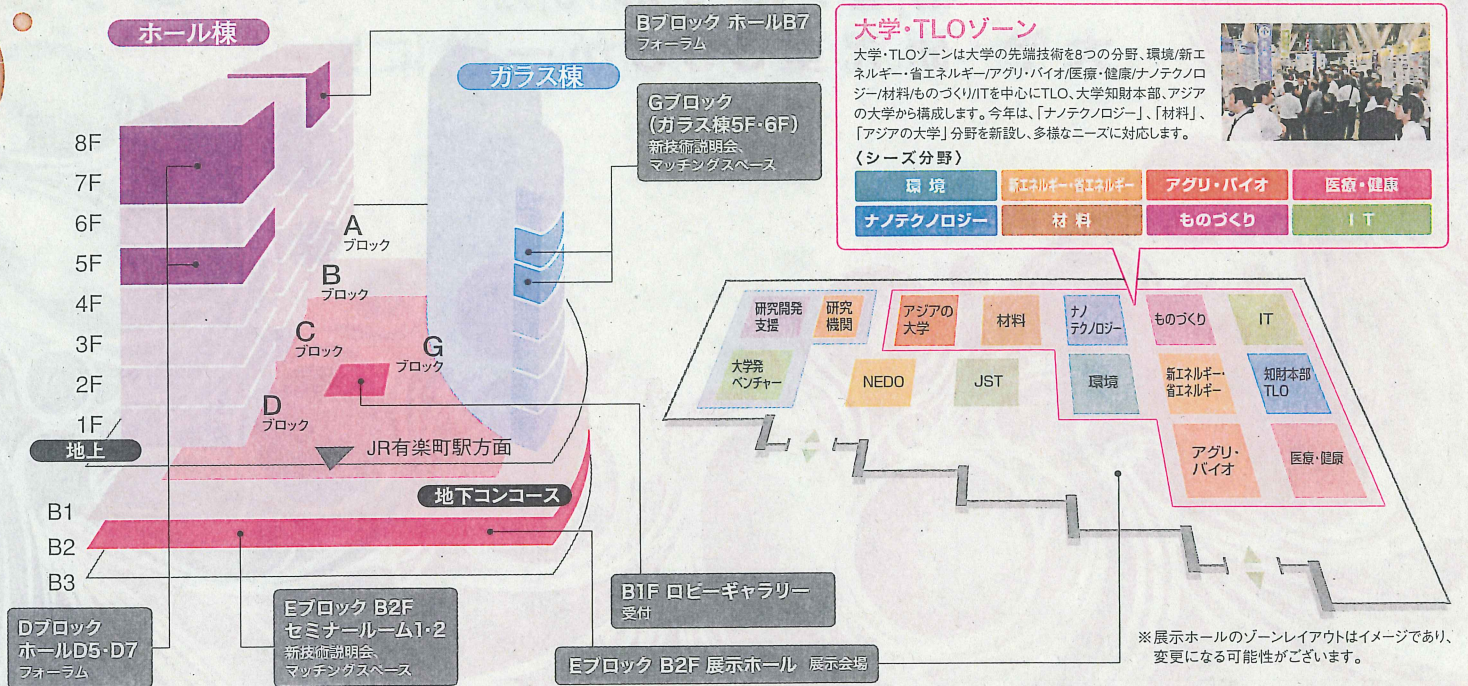
企画協力：日経BP社

詳細は「イノベーション・ジャパン2009-大学見本市」公式サイトで
<http://expo.nikkeibp.co.jp/innovation/>

国内最大規模の産学マッチング、始動!

日本の産学連携を力強くリードする「イノベーション・ジャパン」。
6回目を迎え、更なる飛躍を遂げる産学マッチングの場として、
イノベーションをダイナミックに推進します。

国内大学の最先端技術シーズと産業界のマッチングイベント、「イノベーション・ジャパン-大学見本市」を今年も東京国際フォーラムにて開催いたします。「展示」「フォーラム」と研究者によるプレゼンテーション「新技術説明会」で構成し、大学発の最先端技術シーズと産学連携の最新動向を皆様にお伝えします。公式サイト上には、マッチングシステムを用意し、産学のマッチング・交流を促進します。



イノベーション・ジャパン2009-大学見本市開催に寄せて

日本の研究成果が世界から高い評価を受けています
特許申請も年間1万件近くになっています
出会いの場の活用をお願いします

ノーベル賞もさることながら、ライフサイエンスやマテリアルズ・サイエンスという基礎科学の2大分野でも国際的な高い評価を得るなど、近年、日本の研究成果が世界から高い評価を受けています。科学技術基本法が制定されてから13年、競争的な研究資金が強化され、大学において優良な研究が実施され、多数の研究成果が生み出されており、前述の研究成果は氷山の一角であるとも言えます。特許申請も年間1万件近くに昇っており、大学には多数の技術シーズが蓄積されています。数年前まで日本

の企業から海外の大学へ流れる研究資金の方が日本の大学への研究資金より4倍も大きな時代がありましたが、日本の大学と日本の企業との共同研究が急速に伸びているなど、産学連携への高い期待があります。「イノベーション・ジャパン2009-大学見本市」をさらなる出会いの場として活用くださいますと幸いです。



独立行政法人
科学技術振興機構
理事長 北澤 宏一

大学の優れた技術シーズを
市場につなぎ
絶え間ないイノベーションを創出

先端技術をめぐる国際的な研究開発競争は、さらにスピードアップするとともに激化の一途をたどっています。また、環境・エネルギー等地球規模の問題解決に向けて、海外との戦略的な連携のもと研究開発を加速することの重要性が高まっております。NEDOは「産業競争力の強化」と「エネルギー・地球環境問題の解決」をもって、経済社会の持続的成長の実現に貢献することを目指し、絶え間ないイノベーションの創出に取り組んでいます。



「イノベーション・ジャパン2009-大学見本市」は、大学の技術シーズと産業界のニーズの出会いを目的とした国内最大級のマッチングイベントです。NEDOは、このイベントが産学の皆様の出会いの場として大いに活用され、技術移転が進み、新産業が創出され、日本経済がますます発展していくことを期待します。

独立行政法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構
理事長 村田 成二

国際シンポジウムの開催について

「第7回 高エネルギースピンの物理学環太平洋シンポジウム」

日 程：2009年9月15日（火）～18日（金）

場 所：遊学館（山形市）

本シンポジウムは、陽子などのクォークから構成される素粒子のスピンの構造に関する国際会議です。スピンは、粒子の自転にあたる性質で、質量、電荷などと共に、素粒子の性質や構造を決定する基本的な自由度です。スピンの構造を調べることは、クォークの複合体である素粒子の微細な内部構造を解明する鍵を与える可能性を持っており、素粒子物理学の先端的な研究として注目されています。現在、陽子や中性子などのスピンの構造をクォークレベルで考えた場合、スピンの起源がはっきりしていない状況になっています。これは、「失われた陽子スピンの謎」と呼ばれ、研究が盛んに行われています。山形大学のグループも、スイス、ジュネーブのヨーロッパ原子核研究機構（CERN）に於いて、この謎を解明すべく研究を続けています。

本国際会議では、日本、米国、韓国、中国、台湾、オーストラリアなど環太平洋地域の高エネルギースピンの物理学を専門とする研究者が集まり、最新の研究成果について議論します。また、トピックスによっては、ヨーロッパからの招待講演も組み込まれ、世界的な情報交換の場にもなっています。環太平洋地域における当該分野の研究は、日本および米国がリードしており、この国際会議は、1996年に神戸で始まり、その後、埼玉県のとくまろ市、北京、シアトル、東京、バンクーバーと2年毎に開催されてきました。今回は、山形大学が中心になり（組織委員長は山形大学理学部岩田高広教授）、理化学研究所仁科センターおよび東京工業大学の支援を得て、4日間にわたり山形で行うことになりました。会議はプレナリーセッションだけで構成され、当該分野の専門家がその時点でのホットトピックスを十分に時間をかけて討議するスタイルが取られます。したがって、50名程度の比較的少人数の参加者が自由に議論でき、共同研究に発展することが期待されます。

プログラム

9月15日（火） 午前：会議、午後：会議

9月16日（水） 午前：会議、午後：エクスカージョン、夜：バンケット

9月17日（木） 午前：会議、午後：会議

9月18日（金） 午前：会議

この件に関する問い合わせ先： 理学部 岩田高広
(tel:023-628-4762, email:tiwata@sci.kj.yamagata-u.ac.jp)

The 7th Circum-Pan-Pacific Symposium on High Energy Spin Physics

September 15 - 18, 2009

@Yu-gaku Kan, 遊学館 Yamagata, JAPAN

Supported by Yamagata University, RIKEN Nishina Center and Tokyo Institute of Technology

Tel : +81 23 628 4762

Fax : +81 23 628 4567

Email : pacific09@quark.kj.yamagata-u.ac.jp

<http://www.quark.kj.yamagata-u.ac.jp/pacific-spin09/index.html>

Spin and fundamental symmetries
Spin in hard QCD processes
Nucleon spin problem
Structure functions of the nucleon and nuclei
Polarized parton distributions and fragmentation functions
Transversity and Collins effect
Transverse momentum dependent distribution functions
Higher twist effects
Generalized Parton Distributions
Recent progress of spin experiments:
COMPASS, HERMES, JLab, RHIC and many others
Structure functions on the lattice and effective QCD models
Future experiments and facilities
New idea and methods



Local Organizing Committee :

Norihiro Doshita (Yamagata),
Yuji Goto (RIKEN Nishina Center),
Takahiro Iwata (Yamagata, Chair),
Kaori Kondo (Yamagata),
Shunzo Kumano (KEK),
Yoshiyuki Miyachi (Tokyo Tech),
Yasuhisa Tajima (Yamagata),
Hiroshi Y. Yoshida (Yamagata)

International Organizers :

Leslie C. Bland (BNL),
Hideto En'yo (RIKEN Nishina Center),
Takahiro Iwata (Yamagata),
Andreas Schäfer (Regensburg),
Toshi-Aki Shibata (Tokyo Tech)

International Advisors :

Hai-Yang Cheng (Inst. Phys., Academia Sinica, Taipei),
Rodney Crewther (Adelaide),
Naoaki Horikawa (Chubu U.),
Kenichi Imai (Kyoto),
Robert L. Jaffe (MIT),
Wooyoung Kim (Kyungpook U.),
Bo-Qiang Ma (Beijing),
Toshiyuki Morii (Kobe),
Anthony W. Thomas (JLab)



大学関係者との懇親交流会も開催します

産学連携交流会

日時：**9/17** (木) 15:00～
受付開始は 14:20 から

会場：**山形国際ホテル3階富士の間**

会費：**無料** (第3部『懇親交流会』に参加される方のみ 1,000 円)

問題解決のきっかけとして、お気軽にご参加ください！

プログラム(概要)

第1部 『基調講演』

～技術アドバイザーとしての活躍をお聞かせください～

15:00～

- ◆開会・主催者あいさつ
- ◆基調講演『産学連携による生産効率の向上』
山形大学大学院理工学研究科 准教授 横山 道央氏
サクサテクノ株式会社技術部

第2部 『ポスターセッション&ミニプレゼンテーション』

～興味ある研究シーズ・プレゼンテーションをご自由にご覧ください～

山形大学工学部の各分野にわたる研究内容についてのパネルを展示します
数ある研究テーマの中から、今回は下記の2テーマについてプレゼンしていただきます

16:15～

- ◆『リアルタイム光干渉断層計の開発』
山形大学大学院理工学研究科 准教授 渡部 裕輝氏

16:35～

- ◆『自動車ステアリング用のギヤメカニズム』
山形大学大学院理工学研究科 准教授 大町 竜哉氏

～展示予定研究分野～

- ◆ロボティクス・制御系関係
- ◆生命・バイオ関係
- ◆ナノ・マイクロ技術関係
- ◆環境・エネルギー関係
- ◆新素材・機能性材料関係
- ◆産学連携関係

第3部 『懇親交流会』

～ざっくばらんな懇親交流会です。情報交換や交流の場としてご活用ください～

17:15～ (18:15 終了予定)

- ◆自由参加ですが事前に申込みが必要となります。なお、軽食及びアルコール飲料の提供もありますので、飲酒運転は絶対にしないようにお願いします。

申込

裏面の申込書に必要事項をご記入の上、
FAX 又は郵送にてお申し込みください

締切
9/10

主催：山形大学工学部、山形市、上山市、東南村山商工会広域連携協議会
共催：山形銀行、米沢工業会山形支部

後援（予定）：東北経済産業局、山形県、山辺町、中山町、山形大学地域共同研究センター、山形大学大学院ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー、(財)山形大学産業研究所、中小企業基盤整備機構東北支部、山形県立産業技術短期大学校、(財)山形県産業技術振興機構、(財)山形県企業振興公社、山形県機械電子工業会、山形県商工会連合会、山形商工会議所、山形県中小企業団体中央会、荘内銀行、きらやか銀行、山形信用金庫

産学連携交流会参加申込書

企業/団体名		TEL	
住所		FAX	
	氏名	役職	懇親交流会への参加 (いずれかに丸をお付けください)
1			参加 ・ 不参加
2			参加 ・ 不参加
3			参加 ・ 不参加
4			参加 ・ 不参加
5			参加 ・ 不参加

※記入欄が不足の場合は、恐れ入りますが必要に応じコピーしてお使いください。

※記入いただいた個人情報は、本事業以外の目的には使用しません。

申込書に必要事項をご記入の上、下記の宛先にFAX又は郵送でこのままお送りください

9/10 (木) 締め切りです

<宛先・お問合せ先> いずれのところでも受け付けます

◆山形市商工観光部商工課工業係

〒990-8540 山形市旅籠町 2-3-25 TEL 023-641-1212 (内線 418) FAX 023-624-8896

◆上山市商工課商工振興グループ

〒999-3192 上山市河崎 1-1-10 TEL 023-672-1111 (内線 183) FAX 023-672-1112

◆東南村山商工会広域連携協議会 (幹事上山市商工会)

〒999-3135 上山市南町 8-21 TEL 023-672-2057 FAX 023-672-3916

◆山形銀行地域振興部

〒990-8642 山形市七日町 3-1-2 TEL 023-634-7328 FAX 023-631-0154

会場案内



山形国際ホテル

山形市香澄町3-4-5

☎023-633-1313

JR山形駅から徒歩5分

(山交ビル南側)

平成21年度

山形大学
工学部
公開講座

人間を対象とする 計測・制御技術

—システムという観点から—

2009. 9. 26 Sat
13:00 ~ 17:00

山形大学工学部
4号館211教室

一般市民対象
(高校生以上)

受講料、無料!

Q. システムとは?

A. それぞれは単純な働きしかしない構成要素が、集合体を形成したときに、複雑で多様な協調動作が可能となるもの。この考えを人間に当てはめ、人間が発する信号を計測することで、人の健康状態をモニタリングしたり、脳の謎に迫ったりすることができます。

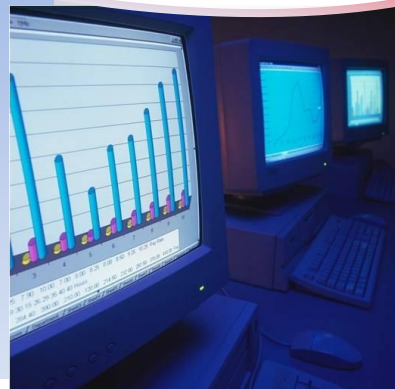
**計測・制御技術の
最先端トピックス!**

1st topics 井上 健司 先生
「生物とロボット」

2nd topics 村松 鋭一 先生
「『機械に命を与える』制御工学の考え方」

3rd topics 湯浅 哲也 先生
「切らずに体の中を見る画像技術」

4th topics 横山 道央 先生
「健康管理システム～測って・処理して・とばす」



お申し込み方法は
裏面をご覧ください

お申し込み・お問い合わせ
山形大学工学部 広報室
TEL / FAX : 0238-26-3419
E-mail : edison@yz.yamagata-u.ac.jp

人間を対象とする計測・制御技術

—システムという観点から—

**受講料、
無料!!**

日時： 平成21年9月26日（土）
13:00~17:00

場所： 山形大学工学部4号館211教室

対象： 一般市民（高校生以上）

参加お申込について

原則として予約制ですが、当日の参加も歓迎いたします。

①E-mailで参加申込書の内容を送信

↓
edison@yz.yamagata-u.ac.jp

②FAXで下記の参加申込書を送付

↓
FAX : 0238-26-3419



●●● 参加申込書 ●●●

氏名	
所属 学校・勤務先等名 (学年)	()
電話番号	
メールアドレス	

※ご記入いただいた個人情報は本件でのみ使用し、他には一切使用いたしません。

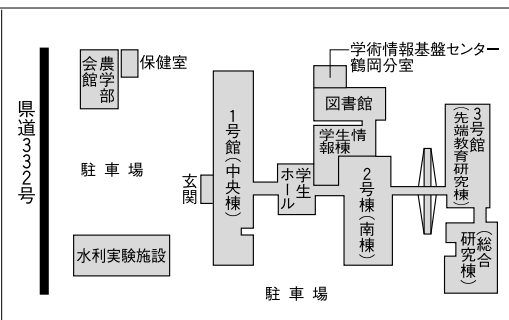
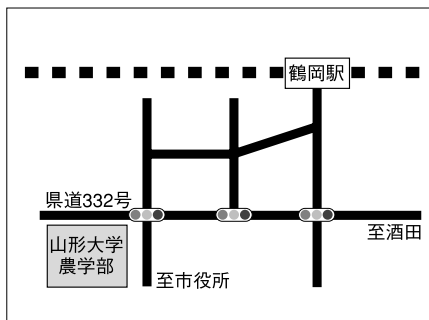


未来博士号が授与される、高校生対象の特別プログラム

生物の多様性を考える

●当日のスケジュール 土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用

- 8:30~9:00 受付(3号館1F)
- 9:00~9:15 開会式
- 9:15~10:15 講義/生物の多様性を考える
……土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用
- 10:15~10:30 休憩
- 10:30~10:45 実験1/土壌微生物を観察する
……菌根菌の役割
- 11:45~13:00 昼食(教官、学生、参加者との交流)
- 13:00~14:15 実験2/植物を分析する
……ポリフェノールの役割
- 14:15~14:30 休憩
- 14:30~15:45 実験3/昆虫を観察する
……植食者と捕食者の関係
- 15:45~16:00 終了式(未来博士号授与)



この申し込み用紙に必要事項をご記入の上、ファックスでお申し込みください。

fax.0235-28-2812

参加申込書

平成 年 月 日

●お名前(フリガナ)		□男性 □女性
●ご住所 〒 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>		
●TEL () () ()	●FAX () () ()	●メールアドレス
●学校名	●学年 () 学年	●保護者同意の有無 □同意あり □同意なし
●このプログラムに期待すること		

●ご記入いただいた個人情報については、本事業に関する準備、連絡以外には使用いたしません。●不明な点などがありましたら、下記までご連絡ください。

〈お問い合わせ・お申込み先〉山形大学農学部企画広報室
山形県鶴岡市若葉町1-23 〒997-8555 tel.0235-28-2911 fax.0235-28-2812
E-mail. nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ときめき、ひらめき、サイエンス ●下記のホームページからお申し込みができます。

<http://www.jsps.go.jp/hirameki>

